

# HIDDEN RESORT

## 都心の隠れ家

水と緑に囲まれた都心の美しい隠れ家  
「パレスホテル東京」で過ごす特別な一日。



左ページ：高層ビル群を背景とした美しい緑を眺めながら、デラックスルーム（和田倉噴水公園側）で朝食を。右ページ：上から時計回りに：クラブフロア宿泊者が利用できるクラブラウンジのテラスでアフタヌーンティー；チーフコンシェルジュの住吉真矢子氏。日本に27人しかいないレ・クレドールメンバーのひとり；夜の帳がおりたホテルのロビー；南部鉄器の鉄瓶や越前漆器の小箱が彩る、和を感じる室内。



大切なパートナーとの特別な一日を、都内で、二人だけでゆっくりと過ごすため、パレスホテル東京に滞在することに。ホテルを囲む緑、清冽な水を湛えるお濠、幾星霜を経てきた石垣、館内を彩るアートピース、そして、スタッフの温かなおもてなし……。そのすべてが、とにかく心地よい。そして、ゲストの心に寄り添うコンシェルジュのホスピタリティマインドの高さ。たとえば、チーフコンシェルジュの住吉真矢子氏は、日本に27人しかいないレ・クレドールメンバーの一人。国内外にもつ、そのネットワークの広さに驚

かされる。以前、常連のゲストのご子息がブラジルのワールドカップを観戦しようと現地を訪れた。ホテルから駅まで車での移動が必要だったが、八方手を尽くしたものの、手配できない。そこで、住吉氏に相談。偶然、レ・クレドールメンバーの知人の家族が現地に在住していたため、送迎のお願いをしたのだという。レ・クレドールの強い絆、そして何より常連のゲストへの心遣いが必要であれば実現しなかった、サービスを越えた心配りだと言えるだろう。

だからこそ、特別な一日をここで過ごすことに決めた。事前にコ

ンシェルジュと何度もメールでやりとりし、パートナーが好きな花やバルーンアートを贅沢に使って部屋をとびきり美しくデコレイトしてもらおうお願いした。彩られた部屋に足を踏み入れたときの、パートナーの驚いた表情やはじけるような笑顔といたら……。ここに滞在する特別な意味を強く感じた瞬間だった。

朝は、大きなガラス窓からさしこむやわらかな陽光で自然と目がさめる。お濠沿いをランニングしたあと、ホテルに戻ると、スタッフがそっと水とおしぼりを手渡してくれる心遣いがうれしい。いつもより遅めの朝

食は部屋でいただくことに。慌たらしい日常からは遠く離れた、穏やかで贅沢な時間が流れていく。

ここに滞在していると、ホテルの醍醐味とは、パートナーとの絆を再確認し、人との“つながり”を愉しむことだという想いがする。こんなにもすばらしい一日にしてくれた“人”に会うために、またパレスホテル東京を訪れよう。次の滞在は、さらに心地よいものになるにちがいない。

パレスホテル東京  
東京都千代田区丸の内1-1-1  
TEL03-3211-5211  
palacehoteltokyo.com